

■実験機器情報■ 低周波発信器

〔詳細〕

【購入意図】

交流回路の実験に便利だと思って数年前に秋葉原でずいぶん安値で買った。詳しく性能についてデータを取っておく必要がが出て、オシロスコープとデジタルマルチメーターで調査したので UP しておく。

【製品名・価格】 Instek □ GAG-810 35,000 円

＜内容＞ 本体

【使用結果】

①オシロスコープ

1k Ω 以上の負荷に対しては、10Hz～500kHz の範囲では安定した出力が得られる。測定対象が100 Ω 以下になると端子（プローブ）のインピーダンスの影響が大きいと思われる。

②DMM

無負荷で直接 DMM で測定した。10kHz までは、出力は 保障されるが、0dB レンジであっても0.1V しか出ない。どのレンジもよく似たふるまいなので負荷をかけて試験を 0dB と -20dB で行った。1k Ω より負荷が低下すると出力電圧は下がる。これは、DMM のインピーダンスの影響か？いずれにしても、学校で交流電源（60Hz）を使うことが多いが、周波数を変えた実験をしたいとき、1kHz～10kHz あたりで使用すると、便利だ。ただし、アナログメーターでなくデジタルメーターが必要となる。

